



認定特定非営利活動法人 海苔のふるさと会 会報

大森 海苔のふるさと館 ニュース37号

海苔の観察事業 海苔養殖風景の再現

かつて大田区の海には海苔を育てるための竹ヒビや海苔網が見渡す限り広がっていました。すっかり海が埋立てられた現在では、昔の様子を想像することも難しくなっていました。そんな昔の風景を再現すべく、ふるさとの浜辺に元生産者の皆さんと一緒に竹ヒビと海苔網を冬の間設置しています。夏から行なってきた再現までの作業を紹介します。

1、アク抜き作業(8月7日)

アク抜きは、竹ヒビに使う竹を一ヶ月ほど海水につけて油分を抜く作業です。竹を2~3本束ね、さらにそれを5~6束にしたものをまとめて海底に沈めて秋を待ちました。



2、ヒビ揚げ・ヒビごさえ作業(9月6日)

海に沈めておいた竹を引き揚げ、いよいよ竹ヒビにします。細かい枝がたくさん出ている竹の上部にさらに枝をつけて枝振りをよくするのがメインの作業です。こうすることで海苔がたくさんつくようになります。他にも竹が海中で浮かび上がることを防ぐために竹の節を抜いたり、海底から竹ヒビが抜けないように荒縄のアゴと呼ばれる返しを針金で固定したりします。

この日の作業には近隣小学校の3年生児童23名も参加しました。元生産者の皆さんは、初めて見る小学生にも分かるよう工夫しながら説明と実演を行いました。



今回の作業で余った竹や荒縄の端材を体験の記念にと持ち帰る児童も見られ、貴重な学びの機会になりました。

3、竹ヒビのヒビ建てと支柱建て

(10月17日、10月18日)

そりと呼ばれる最大干潮にあわせて、竹ヒビと海苔網の支柱を建てました。振り棒という道具を使って海の底に穴をあけ、そこに素早く竹ヒビを差し込みます。昨年に引き続き東京バイオテクノロジー専門学校の生徒が竹ヒビ建てを体験しました。海苔網の支柱は船から水圧ポンプを使って穴をあけて建てました。2日目には近隣小学校の3年生87名が見学を訪れ、波打ち際で竹ヒビ建ての作業を体験しました。



4、網張り(11月24日、2月13日)

今年は千葉県で種付け、冷凍保管された海苔網を張り出しました。10月に建てた支柱に網を固定する作業です。現在の生産地で行われているのと同じ



「重ね張り」という、網を複数枚重ねて張る方法で張りました。翌2月には11月に張った網を新しい網に替える張

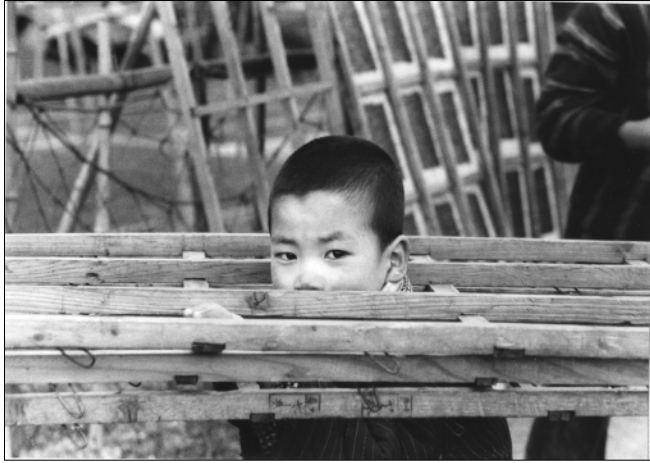
り替えを行ないました。

今シーズンは塩分濃度の低下、降雨、降雪など複数の要因が重なり、海苔の収穫には至りませんでした。しかしながら、網の張り替え時にはわずかですが竹ヒビに生き残った海苔を確認することができました。改めてノリの生命力の強さを感じる結果となりました。(小山・高橋)

写真展 大森 海苔漁の原風景

～確かにあった東京大森の海苔漁師の暮らし～

開催期間：平成26年3月18日 (火) ～7月21日 (月祝)



ニュースでも何度かご紹介した、日高勝彦氏が昭和30年代に撮影した大森の海苔生産と人々の暮らしの写真展を開催します。

当時、日高氏は日本大学写真学科で学ぶ大学生。

その後、報道写真家として日本各地取材した実力を感じさせる生き生きとした写真です。

初公開写真！

当時は高度経済成長が始まり、町や暮らしが変化していった時代です。自分の住む大田区にこのような風景が存在しているのかと新鮮な驚きを感じたそうです。

展示する写真は、全て今回が初展示となります。多くの方々に、当時の海苔のまち大森の息遣いを感じてもらい、確かにあった海苔漁師の暮らしを知っていただければ幸いです。

また、写真に写っている人や場所などにお心あたりのある方の情報もお待ちしております。

■会場 当館2階企画展コーナー



桃の節句の祝い

三月の節句には、どんなお料理でお祝いしますか？料理には、昔からその地域で伝えられてきた味があります。

大森では、桃の節句のお祝いには、白酒、あられ、五目などを用意しました。ちらし寿司とは言わず「五目(ごもく)」といいました。酢飯にレンコン、干びょう、シイタケ、卵、インゲンなど、五種類の具を入れて作ります。

五目は、桃の節句だけではなく、節句、お盆、彼岸、祭りなど、特別な際に作ったそうです。干びょう

うは、祝い事には食紅で赤に色付けし、仏事にはアオ(緑色)に色付けしました。

あられは、餅を細かく刻んで天日で干し、油で揚げて作りました。

今と比べると華やかさはないかもしれませんが、手間を掛けて作るその家の味は最高のご馳走かもしれませんね。

(まこ)

(お話：元海苔生産者の鳴島光吉さん)



松岡修造の くいん坊万才

3月10日 (月)

21:54~22:00 フジテレビ

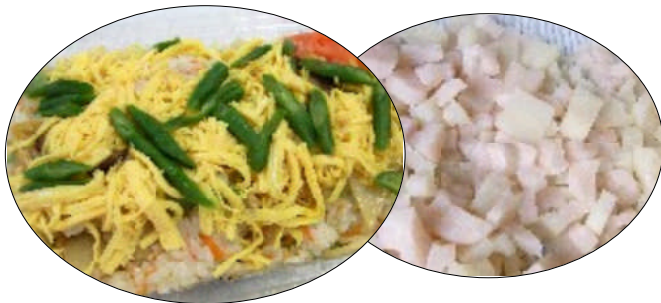
大森の海苔漁師が海で食べていた、懐かしの海苔巻きとは？
ふるさと館と地元の元海苔生産者が登場します。お楽しみに！！

認定特定非営利活動法人 海苔のふるさと会会報「大森 海苔のふるさと館ニュース」37号
平成26年3月1日発行
編集・発行 認定特定非営利活動法人 海苔のふるさと会
連絡先 東京都大田区

平和の森公園2番2号

TEL 03-5471-0333

FAX 03-5471-0347



海苔のふるさと会 会員募集中!!

海苔のふるさと館をより良い施設にするために、ご協力いただける方を募集しています。詳しくはホームページをご覧ください。